

科研基盤 A「地理情報科学標準カリキュラムに基づく地理空間的思考の教育方法・教材開発研究」平成 22 年度全体会議事録

日時：2011 年 3 月 8 日

13：00~16:00

会場：東京大学工学部 14 号館 802

出席：浅見泰司、有川正俊、石川 徹、太田守重、奥貫圭一、河端瑞貴、久保田光一、高阪宏行、貞広幸雄、佐藤英人、鈴木厚志、高橋信人、村越 真、村山祐司、森田 喬、矢野桂司、湯田ミノリ、米澤千夏、若林芳樹、李 召熙
欠席：伊藤 悟、今井修、岡部篤行、岡本耕平、小口 高、黒川史子、佐藤英人、高橋昭子、古橋大地、南 佳孝

2010 年度の報告および今後

総括班

[今年度]

- ・ 会議 7 月、10 月
- ・ BoK スライドプロジェクト (7 月~11 年 3 月)
 - 教育現場での BoK の利用促進のために、授業で使える内容解説スライドを作成することになった。7 月、8 月、10 月と会議を行い、プロトタイプを作成、規格を決定した。さらに、担当者にスライド作成を依頼した。
 - 研究発表・セッション：G 空間 EXPO (9 月)、地理情報システム学会 (10 月)
- ・ BoK 完成 (6 月) アップデート (10 月および 11 年 3 月)
- ・ STGIS の準備
 - 論文募集、査読中。ウェブサイト管理、補助金 2 件、スポンサー 4 件。

[来年度]

- ・ AAG パネルディスカッション (11 年 4 月 12 日)
- ・ STGIS2011 (9 月 14 日~16 日 駒場)
- ・ G 空間 EXPO (9 月 14 日~16 日 横浜)

GIT 班

[今年度]

- ・ 会議 4 月、6 月、9 月、11 月、11 年 2 月
- ・ GIT ツールキットのプロトタイプを作成
- ・ GIT の内容の検討

[来年度]

- ・ 来年度はスタンドアロンタイプの GIT を公開できるようにしたい
- ・ Web での公開についても、どのような内容を実装していくのが課題
- ・ 社会人教育と高等教育どちらでもつかえる教材の作成を目指す

E-learning 班

[今年度]

- ・ 韓国の GIS 教育の調査
- ・ Wiki のプロトタイプ作成

[来年度]

- ・ 韓国調査 (5 月)
- ・ 自然系コンテンツは小口、経済系を河端、都市計画系は李が担当して作成
- ・ Wiki の公開実験 小口に確認

教科書班

[今年度]

- ・ イギリス、アメリカでの GIS 関連授業内容を調査
- ・ BoK スライド作成

[来年度]

- ・ イギリス、アメリカでの GIS 関連授業内容を継続調査 発表予定
- ・ BoK の内容を教科書にする
 - 教科書は通年 30 コマ授業で使えるもの
- ・ G 空間 EXPO
- ・ 国交省 GI 専門家育成プログラムなどに BoK を活用していきたい

空間的思考体系化班

[今年度]

- ・ 空間認知研究会出席
- ・ 空間的思考に関するアンケート調査を CSIS Days2011 で実施
- ・ BoK に空間的思考関連の項目を追加
- ・ スライドに空間的思考に関する項目を担当
- ・ 研究発表 GIS 学会 (10 月)

[来年度]

- ・ 研究発表 AAG (4 月)、STGIS (9 月)
- ・ 空間的思考能力に関する研究、GIS 教育・地理教育への応用と教材開発

初等中等教育班

[今年度]

- ・ 研究発表 IGU (7 月)、G 空間 EXPO (9 月)、CSIS Days 2011、SEAGA (11 月)
- ・ アプリケーション開発と小学校での実証実験

[来年度]

- ・ 研究発表 AAG (4 月)、STGIS (9 月)
- ・ アプリケーションの改良、実験
- ・ AAG 教材作成ワークショップ (9 月 17-19 日)

BoK スライドの公開方法について

- ・ 利用規定をつくる (利用の範囲、著作権などについて明記したもの)
- ・ 来年度、メンバー内で評価。ほかの人の作ったスライドを使い、フィードバック。
 - 授業を使っただけの感想、スライドの良い点、直したり考慮したりしたほうがよいところなど気づいた点を湯田までメール (7 月末まで)
 - 担当は各章 2・3 人ずつ、湯田が割り振る
- ・ ID Password で管理など、本格的な運用方法を来年度検討

教科書班について

- ・ 矢野+各章の担当者が、それぞれの章を書くもしくは割り振りを考える。
- ・ 序章 村山・若林、第 1 章 太田、第 2 章 矢野、第 3 章 藤田、第 4 章 貞広
第 5 章 森田、第 6 章 高阪
- ・ 教科書のイメージ、コンセプト的なものを矢野が作成する

予算

- 資料 No4 の通り了承された。

来年度以降の班構成

BoK 班がなくなる。

空間的思考体系化班と教材開発班を統合

来年度からの班構成：

- ・ 総括班 浅見
- ・ GIT 班 久保田
- ・ e-learning 班 小口
- ・ 教科書班 矢野
- ・ 空間体系化班 若林

BoK 班のメンバーについては、どの班に所属するかを考えてもらう。

STGIS2011 について

STGIS キーノート

9月14日 Goodchild、Batty、浅見鼎談（案）

9月15日 教育セッション 司会：石川

9月16日 Harvey

G 空間 EXPO について

協力する必要が今後出てくるかもしれない。

2012年6月 G 空間 EXPO があるかも

2013年IGU京都について

この科研でも参加できれば。最終報告会を兼ねる可能性もある。

空間能力テスト

空間的思考体系化班の実験に、科研メンバーが協力

以上